

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第5回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成30年3月14日（水）18時00分から19時20分まで
開催場所	保谷庁舎 別棟C会議室
出席者	(委員) 北岡会長、吉田委員、村上委員、前田委員、林委員、山縣委員、岡田委員、川村委員（欠席委員：飯塚委員、姉松委員） (事務局) 宮坂課長、工藤係長、本谷主任
議題	1 J S Nオランダ連携事業について 2 西東京市スポーツ振興事業補助金の交付について
会議資料の名称	【当日配付資料】 資料1 オランダ連携事業「Game Changer ～パラスポーツで社会を変える～」西東京市 平成29年度実績報告 資料2 平成29年度西東京市スポーツ振興事業補助金の審査結果④ 【事前送付資料】 オランダ連携プロジェクト視察報告書 平成29年度第4回西東京市スポーツ推進審議会会議録
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
1 開会 ○会長 ただいまより、平成29年度第5回スポーツ推進審議会を開会する。 本日は、飯塚委員より欠席の報告を受けている。 ○スポーツ振興課長 本日は、今年度のオランダ連携事業の報告を主な内容とする。 ○事務局 資料の確認及び4月14日指定管理者主催事業の案内 2 議題 (1) J S Nオランダ連携事業について ○会長 事務局から説明をお願いします。	

○事務局

昨年の秋に本格的にスタートした J S N オランダ連携事業について、今年度の実績を報告する。来年度の取り組みをより良いものにするため、今年度の事業等の評価やご意見を委員の皆様からいただきたい。

資料 1 「オランダ連携事業「Game Changer ～パラスポーツで社会を変える～」西東京市 平成29年度実績報告」 P 1 ～ 4 の説明

事前送付資料「オランダ連携プロジェクト視察報告書」の説明

○会長

委員から質問・意見等あるか。

○委員

オランダ連携事業は、単年度の事業であるか。また、助成金等はあるか。

○事務局

オランダ連携事業は、東京オリンピック・パラリンピック開催の 2020 年までの継続事業であり、2020 年以降もレガシーとして事業の効果をつなげていくものである。

また、東京都のオリンピック・パラリンピックに関するスポーツ振興事業の補助金を得て実施している。

○委員

今年度は、健常者にパラスポーツを知ってもらうことがターゲットであったのか。

○事務局

障害者も参加できる事業を開催していたが、連携事業初年度である今年度は、健常者が障害者や障害を理解することが中心となった。

○委員

来年度以降には、イベント等に障害者に参加してもらうための仕掛けが出てくるのか。

○事務局

現在も障害福祉課を通して障害者への事業周知を行っているが、さらにネットワークを広げていきたい。

○委員

オランダ視察報告からオランダでの事例を理解したが、西東京市では、潜在的な障害者に対するアプローチをどのように考えているのか。例えば、障害者をスポーツの場所に引っ張り出すのか、または障害者がいる場所に出向くのか。また、指導者も一緒に出向く必要もあり、積極的な取り組みをしていかなければならないと思う。

オランダ視察の報告を聞き、有効的なものであったことが伺えた。来年度以降は、広報や仕掛け等を段階的に上げていただきたい。

オランダ視察を行ったのは、どのような構成員であったのか伺いたい。

○事務局

視察は、日本スポーツ振興センター職員、各自治体から担当課長、係長が参加した。

○委員

来年度以降も視察があるのであれば、オランダの事例を直接見る機会になるので、市民から募集し、書類審査やコンペを経て現地視察を行う方法もあると思う。また、視察に関して市が費用の補助をする方法もあると思う。

○委員

オランダ視察は、市役所職員が行っても良いが、実際に地域で活動するのは市民であるので、市民自身が市役所に手伝ってもらいながら自ら何かしようという気持ちを上手く使うことが良いと考える。興味のある人を活動の場に引き上げて、取り組みを広げていく方法もあると思う。

○委員

視察報告書36ページの「スポーツ監督」は元の言語では何と言うのか。
また、団体または個人のどちらであるか。

○事務局

オランダ語の訳として「スポーツ監督」と説明されており、団体を意味していた。

○委員

オランダ連携事業の取り組みは良いものであると思う。11月の市民まつりの様子を実際に見たが、盛り上がりしており、周知の効果があつたと思う。パラスポチャレンジのように特化した取り組みよりも、抱き合わせイベントとして、市民が多く集まるところで実施する方が効果があると思う。

また、現在、田無駅前に平昌オリンピックのアイスホッケー、パラリンピックのパラアイスホッケーを応援する懸垂幕が掲出されているが、懸垂幕は自然と目に入ってインターネット等よりも興味関心を引く効果があると思う。今後もこのようなものを活用できると良い。

リレーマラソン会場で開催した義足体験は気づかなかつたが、市民まつりに実際に参加してみて、報告書以上の効果があつたと感じる。

○委員

オランダ視察報告の最後に「点から線へ」とのキーワードがあつたが、市立中学校には様々なオリンピック・パラリンピック関連情報を提供していただき、少しずつ取り組みが進んでいると思う。

中学校においても、スポーツを「見る」、「知る」、「支える」の取り組みをしているので、教育機関と連携して、ぜひ「線から面」になるつながりをしていただきたい。

○事務局

資料1「オランダ連携事業「Game Changer ～パラスポーツで社会を変える～」西東京市 平成29年度実績報告」P5～8の説明

○委員

意識調査の項目の「東京パラリンピックを観戦したいか」について、「ぜひ観戦したい」と「機会があれば観戦したい」を含めると9割以上となるが、事務局が「観戦につながっていない」と評価する理由は何か。

○事務局

東京都はパラリンピック会場を満席にしたいという目標もあり、積極的な観戦につなげ

たいことから「ぜひ観戦したい」という市民を今後増やしていきたいと考えている。

(2) 西東京市スポーツ振興事業補助金の交付について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

スポーツ振興事業補助金対象事業④について説明

○委員

補助対象は、個人ではなくチームであるのか。

○事務局

チームである。

○委員

NPO法人のチームであるから、補助金を受けられるのか。または、プロチームでも補助金を受けられる制度であるのか。

○事務局

現在の要綱では、プロチームであっても要件を満たせば補助が出せる状況ではあるが、補助要綱については見直しているところであるので、今後整理する予定である。

○委員

補助対象経費は、市民2名に対するものか。

○事務局

補助対象経費は団体に対してであるが、補助額は補助対象経費の2分の1と補助限度額とを比較して少ない方の額である。

○委員

本補助制度では、個人で申請することは可能であるのか。

○事務局

個人競技で大会に出場し、対象者の要件を満たしていれば個人で申請していただいている。

○委員

大会結果はどうであったのか。

○事務局

全国大会で勝ち進めばJFL参入の可能性もあったが、1回戦敗退であった。

○会長

補助金の交付について、承認するということによろしいか。

○委員

異議なし。

○会長

異議なしということで、補助金の交付について承認されたものと決定する。

(3) その他

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

平成 29 年度第 4 回会議録について、ご承認をいただきたい。

○委員

一同了承

○会長

以上で本日の審議会は、閉会とする。